

令和6年度事業計画(音楽)

自 令和6年4月1日

至 令和7年3月31日

公益目的事業3(顕彰事業)

1. 「第55回サントリー音楽賞」「第23回佐治敬三賞」(2023年度)の贈賞

令和6年2月29日(木)(音楽賞)・3月9日(土)(佐治敬三賞)選考会でそれぞれ選定、
3月25日(月)理事会にて決定後、日程調整し、贈賞式を開催する。

2. 「第56回サントリー音楽賞」の選定

- ア. 対象 令和6年1月1日から12月31日までの1年間に、わが国の洋楽の発展に最も
顕著な功績のあった個人または団体
- イ. 賞 賞状、賞金(700万円)
- ウ. 選考 令和7年1月 候補者選考会(予定)
令和7年3月 受賞者選考会(予定)
- エ. 贈賞 受賞者決定後に調整のうえ贈賞式を(令和7年度に)開催

3. 「第24回佐治敬三賞」の選定

- ア. 対象 令和6年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 賞 賞状、賞金(200万円)
- ウ. 公募 令和6年上期実施公演: 令和5年9~10月に応募を受付済み
同 下期実施公演: 令和6年3~4月に応募受付
- エ. 選考 応募公演について公演視察を実施
令和7年2月 選考会(予定)
- オ. 贈賞 スケジュール調整のうえ音楽賞と同時に令和7年度開催予定

4. 「第25回佐治敬三賞の募集」

- ア. 対象 令和7年1月1日から12月31日までの1年間に行われる音楽公演で
チャレンジ精神に満ちた企画でありかつ演奏成果の優れたもの
- イ. 公募 令和7年上期実施公演: 令和6年9~10月に応募を受付
同 下期実施公演: 令和7年3~4月に応募受付

5. 第34回「芥川也寸志サントリー作曲賞」の選考、決定、贈賞

2019年の財団50周年を機に第29回から、芥川也寸志氏にちなんだ賞であること、サントリ

一芸術財団の将来にわたるコミットメントをより明確にするため賞名を変更し、作曲家への支援を強化するために賞金を150万円に増額した。

本年度は2023年に初演された新進作曲家の管弦楽作品の中で最も清新かつ豊かな将来性を内包する作品を選定する。最終選考は公開の場で行う。

ア. 第1次選考会

令和6年2月26日(月)に開催し、第34回芥川也寸志サントリー作曲賞の選考対象となる日本人作曲家の交響管弦楽曲(2023年1月から12月の間に国内外で初演)候補作品について譜面および録音による選考を行い、候補作品数曲を選出する。

イ. 第34回「芥川也寸志サントリー作曲賞」選考演奏会

8月24日(土) 15:00～、サントリーホール 大ホール

サマーフェスティバルの一環として開催。第32回受賞記念委嘱の波立裕矢氏作品を初演したのち、候補作品を演奏し、演奏終了後、3人の選考委員が公開による選考を行って1曲を選定し、第34回「芥川也寸志サントリー作曲賞」(150万円)を贈賞する。選考会司会は白石美雪氏。なお、受賞作曲家には新作を委嘱(委嘱料100万円)し、完成後、当財団主催の演奏会で初演する。

公益目的事業4 (助成事業)

1. 佐治敬三賞推薦コンサート活動

2019年の財団50周年を機に、意欲的でチャレンジングな佐治敬三賞応募公演の中から、一部を紹介し、実際に聴いてもらう機会を提供するために、佐治敬三賞推薦コンサートとして選定、チケットプレゼントを行っている。

令和6年度は、第24回佐治敬三賞応募公演のうち令和6年4～12月開催公演および第25回の一部(令和7年1～3月開催分)の推薦されたコンサートを、ホームページなどで告知し、抽選で招待する。年間20公演程度を推薦する。

2. 「第11回サントリー芸術財団名器特別賞」として楽器を貸与

世界的文化遺産である弦楽器名器を保全し次世代に継承するとともに、若手音楽家の育成、クラシック音楽の発展に貢献することを目的に、「第11回サントリー芸術財団名器特別賞」受賞者を選定する。

「第78回全日本学生音楽コンクール全国大会 バイオリン部門中学校の部・高校の部」(主催:毎日新聞社)において選定委員が受賞者および推奨楽器を決定し、財団所蔵バイオリンを無償で3年間貸与する。

全日本学生音楽コンクール バイオリン部門(中学校の部・高校の部)

開催時期:令和6年12月初旬開催(予定)

会場:横浜みなとみらいホール(予定)

3. 演奏家向け楽器貸与

ア. 新規貸与

以下の楽器について、新規貸与希望者の募集し、選考のうえ貸与を開始する。

- ①PIETRO GIACOMO ROGERI (1710 年製作 チェロ)
- ②ANTONIO STRADIVARI (1727 年製作 バイオリン)
- ③PAOLO ANTONIO TESTORE (1728 年製作 ヴィオラ)

②③は、平成 30 年貸与決定者への継続貸与が令和 6 年で貸与契約終了することにとまなう。

4. その他の助成

ア. 活動助成

- (1) 音楽文献目録委員会 音楽文献目録出版に対して
- (2) 日本作曲家協議会 日本人作曲家の楽譜出版に対して

イ. 運営助成

- (1) 日本作曲家協議会
- (2) 日本現代音楽協会
- (3) 日本演奏連盟

以 上